

こんにちは！市史です！

市史編さんだより(1)

市史編さん係では、今回から年4回、皆さんに伊賀市史について色々な情報をお届けします。

我が国最古の歴史書である「日本書紀」には、雄略天皇18(474)年の条に、伊勢の朝日郎が官軍を迎えて「即ち伊賀の青墓に於いて逆へ戦ふ」との記述があるなど、伊賀は神話の時代!!から日本史の表舞台に登場する重要な地域であったことは、皆さんもよくご存知のことでしょう。

平成16(2004)年11月の合併により伊賀市が誕生したことを機に、この歴史と伝統と文化の薫り高い伊賀市の足跡を明らかにするため「伊賀市史」の編さんに着手しました。伊賀市史は、平成27(2015)年度までに古代・中世、近世、近現代の各時代の通史編と資料編に加え、年表・索引の合計7巻の刊行を計画しており、第1回配本は、古代・中世の資料編を平成20(2008)年の春頃に予定しています。

この古代・中世の資料編では、伊賀市域における「古事記」「日本書紀」の時代から、近世の藤堂高虎が伊賀に入城するまでの間に、都で書かれた伊賀の記述や、地元には古文书や古記録、木簡・墨書土器などから資料を選んで掲載する予定です。

当係では、刊行計画に沿って編さんを行ってまいります。本格的な編さん作業は、まだ

始まったばかりです。

「伊賀市史」

では、今までに集めた資料に加え、皆さんの地元の資料があれば積極的に掲載したいと考えています

ですので、ご自宅やお知り合いの方で古い記録や古文書、古写真などをお持ちの方がいましたら、ぜひ、ご連絡をお願いいたします。

最後に既刊のご案内をします。「上野市史」の民俗編上・下巻、芭蕉編、文化財編、自然編、考古編と「伊賀町史」「伊賀町のあゆみ」「青山町史」を販売しています。本庁総務課や当係(青山支所内)、市内の一部の書店や(財)伊賀市文化都市協会が管理する施設の一部に置いてありますのでお買い求めください。なお、頒布価格はそれぞれ異なりますので、当係までお問い合わせください。

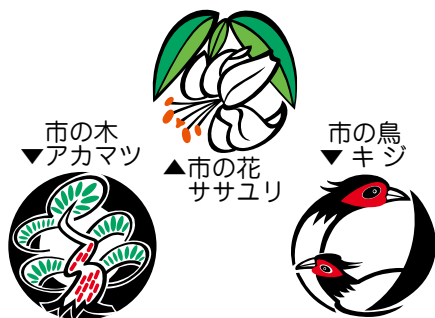
今後とも、伊賀市史編さん事業をよろしく願います。

本庁総務課市史編さん係

☎ 52・4380



▲江戸時代末期の古文書 (市内在住個人蔵)



ひとが輝く 地域が輝く

～住み良さが実感できる自立と共生のまち～

伊賀市 IGA CITY



発行日 平成18年6月1日

発行 伊賀市

〒518-8501

三重県伊賀市上野丸之内116番地

編集 企画振興部広聴広報課

☎ 0595-22-9636

伊賀市ホームページ:

<http://www.city.iga.lg.jp/>

旧大山田村では平成4年からふるさと創生の1億円を基とした「ゆめさき基金」を設置し、地域づくりの様々な事業を展開してきました。

地域づくり景観整備事業として子延地区の住民が水車小屋づくりに取り組んだのをきっかけに、住民主体の地域づくりに対する熱い思いは広まってきました。

いぶし瓦の常夜灯やささゆりのサイン灯など大山田地域にはふるさと創生基金を活用してつくられたものがいろいろな所で見ることができます。

お立ち寄りの際には、すこし回り道をして事業の成果を見て回るのもいいかもしれません。

表紙と右の写真は、2基目の水車です。

(今月の表紙)

ふるさとにきこえる 水車の涼しい響き



この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。